

## えっ! そうなんだ、そうすればいいんだ!

いつも使っているWindowsはOS(オペレーティングソフト)という“ソフト”です。OSはハード(パソコン)とソフト(アプリケーション)の橋渡し役の“ソフト”です。Windowsがあるからこそこ私たちはいろんなメーカーのパソコンでいろんなメーカーが作成したソフトを共通の操作方法で簡単に使用できるのです。今回は以前もご紹介したWindowsの小技・裏技の続編です。既にご存知の技があるかも知れませんが、もう一度おさらいの意味も含めご覧下さい。

### ごみの削除も効率的に!

ごみ箱を通さず削除する方法を知っていますか? 通常の方法だと削除後のファイルやフォルダは一旦ごみ箱に保存され、ごみ箱を空にしなければ完全に削除は出来ません。しかし、明らかに不要なファイルやフォルダを削除する場合は二度手間になります。こんな時は「Shift」キーを押しながらごみ箱にドラッグ&ドロップ、または右クリックメニューの「削除」をクリックします。「Shift」キーを押しながら「Delete」キーを押しても構いません。こうすればごみ箱には何も残らず、完全に削除されます。シーンにあわせて削除方法を使い分けて下さい。

#### プロパティで一括設定

ごみ箱を通さず完全に削除する方法は、ごみ箱のプロパティで設定する事もできます。デスクトップにあるごみ箱を右クリックしてプロパティをクリックします。「オプション」タブの「**ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す**」にチェックを付けます。削除確認のウインドウを表示したくない場合は、「**削除の確認メッセージを表示**」のチェックを外します。プロパティではごみ箱の容量も設定できます。ちなみにごみ箱がいっぱいになった場合は古いファイルから順に完全に削除されます。

### マウスとキーの併用で効率UP!

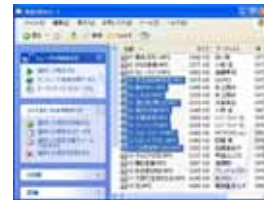
Windowsにはファイルやフォルダの選択方法に決まりがあります。複数のファイルやフォルダを飛び飛びに選択する場合は、「Ctrl」キーを押しながらマウスで選択します。連続して並んでいるファイルを選択する場合は、最初のファイルを選択した後、最後のファイルに「Shift」キーを押しながらクリックします。この両方を組み合わせてファイルを選択することも出来ます。Shiftキーを使い、ある程度のファイルを選択した後、Ctrlキーを押しながら不要なファイルをクリックするとクリックしたファイルが選択解除されます。ちなみにこの技はエクセルのセルの選択にも応用できます。

#### 複数のウインドウを一気に終了

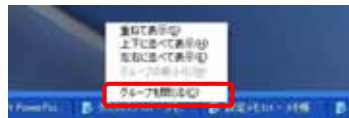
上の技を応用するとデスクトップにたくさん開いたウインドウを一気に閉じることが出来ます。タスクバーに表示されているファイル名を「Ctrl」キーを押しながらクリックして、選択したファイル名の上で右クリックします。表示されるメニューから「閉じる」(XPの場合は「グループを閉じる」)をクリックします。



Ctrlキーを押しながら選択



Shiftキーを押しながら選択



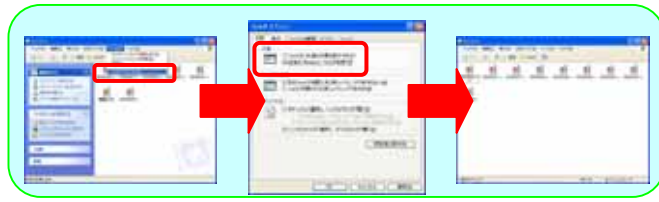
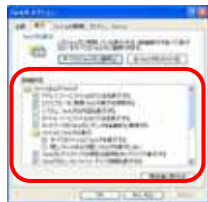
最小化や並べて表示する事も出来ます。

### ウインドウ広々、作業ラクラク!

WindowsXPでフォルダを開くと左側に「ファイルとフォルダのタスク」や「その他」「詳細」などの表示が現れませんか? 便利な時もありますが、複数のフォルダを開いてファイル操作を行う時などは邪魔になる時もあります。そんな時は「ツール」「フォルダオプション」をクリックして「全般」タブの「作業」の「**従来のWindowsフォルダを使う**」にチェックを付けて、「OK」をクリック。フォルダの左側の表示がなくなり、フォルダの中身だけが表示されるようになります。

#### 詳細設定で自分流にカスタマイズ

フォルダオプションの中の「表示」タブの「詳細設定」にはもっと細かい設定もありますので、一度見てみるのも良いですね。「既定値に戻す」ボタンがありますから、設定がわからなくなった場合もすぐにもとに戻せます。自分にあった設定を見つけて下さい。



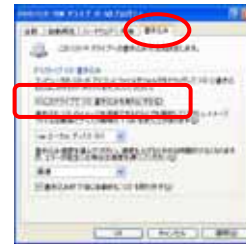
### ごみファイルの一発削除



## その設定、チョッと待った!

市販のライティングソフトを使うなら

WindowsXPは特別なライティングソフトがなくてもCD-R/RWへの書き込みが出来ます。でも、チョッと待って下さい。もしもプリンストンや市販のライティングソフトを使用してCD-R/RWに書き込みを行うのなら、WindowsXPのCD書き込み機能をOFFにしておくことをお勧めします。ライティングソフトの説明書にもそう書いてあるはずですが、説明書の指示に従って余計なエラーを未然に防ぎましょう。

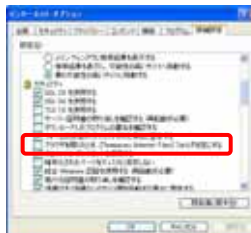


XPでの書き込み機能をOFFにする方法は、マイコンピュータを開きCD-R/RWドライブを右クリックします。メニューからプロパティを開きます。「書き込み」タブを選択して「デスクトップCD書き込み」欄の「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外します。XPのライティング機能を使う場合はチェックを付けておきます。

書き込み速度の初期値は「最速」になっています。特に問題はないはずですが、もしエラーが発生する場合は速度を落として下さい。

### IEの Temporary Internet Filesを削除

「Temporary Internet Files」は何をするファイルかご存知ですか? インターネットエクスプローラは一度見たホームページのファイルを保存しておき、次回同じページを表示する時に、ページの更新がないかを調べ、更新がなければ、保存しているファイルを表示します。でも、ADSLやBフレッツなどの高速回線の場合はページの更新を調べてからファイルを表示するより、毎回ページを最初から読み込んだ方が速い場合が多いのです。ダイヤルアップ回線の場合は有効な「Temporary Internet Files」ですが、高速回線の場合は逆転現象が起きるのです。設定を変更して「Temporary Internet Files」を削除するようにしておきましょう。IEのメニューバーの「ツール」「インターネットオプション」「詳細」タブを開き、「**ブラウザを閉じたとき、[Temporary Internet Files]フォルダを空にする**」にチェックを入れます。



インターネット一時ファイルの容量を少なくするの効果が、HDDの容量節約にも貢献する設定です。

## 開発室から

たくさんあるWindowsの技ですが、私の説明が下手で長い説明になり少ししかご紹介できませんでした。今度は一問一答形式でご紹介できれば良いなあと思います。インターネットで「Windows 裏技」等で検索すると、たくさんの方の技を発見できますヨ!